



学びの高嶺

校訓 感謝・努力・友愛

北九州市立高見中学校
学校だより 第14号
令和7年12月23日(火)
校長 若松 英昭

2学期 挑戦できたか？

自ら判断・行動し、
楽しく挑戦！

2学期も今日で終了します。8月26日に2学期の始業式が行われ、スタートしてから4ヶ月が経ちました。始業式で福岡ソフトバンクホークス元監督の工藤公康さんの講演会の話をしました。その中で「やっているときは無駄と思っていたが、振り返ってみると無駄になっていない。たくさんチャレンジすると失敗もするが、失敗を次のチャレンジに生かせばよい。」という話を紹介しました。みなさんは2学期を振り返ってみて、挑戦（チャレンジ）することができたでしょうか？そして、成功や失敗から学ぶことができたでしょうか？それを次に生かすことができたでしょうか？学習面や生活面のこと、友達のこと、部活動や習い事、自分の趣味など様々な場面があると思います。どうかと思う人は、冬休みや3学期に向けて、本気で自分で考えてください。



2年生修学旅行



文化発表会

学校全体では、文化発表会などの学校行事や各学年の行事など一生懸命取り組む姿をたくさん見ることができました。また、生徒会の取組や各専門委員会、係活動など、日ごろの活動も地道に取り組んでいました。高見中をより良くしていこうとする取組はとても大切なことですし、ありがたい事です。



生徒会役員改選

3学期は、いよいよ学年最後の学期になります。1年生は2年生へ、2年生は3年生へ、3年生は卒業後のステージに向けての準備の学期になります。そのためにも、冬休みは次のステージに向け取り組む心の準備の期間にしましょう。そして、自分の目標を考えるよいタイミングです。ぜひ、じっくり考えてください。

ここで、2学期にちょっとしたことですが、とてもうれしかったお話です。

（その1）中体連の大会などの応援に行ったあと、学校で私に会った時に「昨日は応援ありがとうございました。」と必ず言ってくれる生徒がいます。

（その2）秋に落ち葉が落ちて、雨が降っていたので滑らないように掃いていると、横を通るときに「ありがとうございます」と言ってくれる生徒がいます。

（その3）授業中や休み時間に、塵取りをもってそうじしながら学校内を回っていると「校長先生、ありがとうございます」と言ってくれる生徒がいます。（先生も）

(その4) 給食室に入ってくるとき、「こんにちは」の挨拶の声が大きくなってきたこと。

「おはようございます」「こんにちは」の挨拶や「ありがとうございます」のお礼の言葉を、生徒の皆さんから聞くたびに、私自身大変うれしく元気になります。短い言葉ですが、相手を思いやる素敵な言葉だと思います。私自身も素直に言っていこうと思う瞬間です。

1 年生ゆめ未来ワーク・芸術鑑賞教室（ドラムタオ）

北九州市では、北九州地域で学び育った中高生が、早い段階から仕事や進学について考え、地元の魅力を知るイベントとして「北九州ゆめみらいワーク 2025」が開催されました。

このイベントは、多くの地元企業や大学等が出展し、職業体験や社会人との交流などを通じて、若者の職業観の醸成や地元企業・大学等への理解促進、将来の地元就職につなげることを目指しています。

本校も昨年に引き続き今年も1年生が12月11日（木）に参加しました。職業体験、企業の方から仕事の話の聞いたり、大学生から大学の説明を聞いたりしています。自分の将来のことを考えるよい機会になっています。

1 年2組 G

僕は将来の夢もしたい職業もありませんでした。しかし今日、職業体験をしてみて三菱電機に興味を持ちました。冷蔵庫や洗濯機などに使われている半導体の事やスマホやパソコンなどのチップについての説明を聞き、色々と考えて物を作るのはとても楽しそうだと感じましたし、実際にやってみたく感じました。身の回りにある三菱のパワー半導体・チップについて意識してみようと思います。（中略）今回の体験を通して、この街には様々な企業があることを知り、将来のことをもっと考えていきたいと感じました。自分の可能性を広げるためにも勉強を頑張ります。



1 年生は、ゆめ未来ワークの次の日の12日（金）に芸術鑑賞教室に参加しました。芸術鑑賞教室は「感受性の豊かな中学生に、芸術性の高い演劇・音楽・美術等を鑑賞することによって、芸術を身近に感じ、豊かな情操の育成を図る。」ことを目的に毎年開催されています。今回「DRUM TAO」の大変迫力のある舞台を鑑賞してきました。

1 年1組 I

初めて DRUMTAO に行くととても楽しかったです。最初は、DRUMTAO のことを知らなかったのでもあまり興味がなく楽しいのかなぁと思っていました。でも演奏が始まると、見入ってしまうほどとてもカッコ良かったです。演奏は和太鼓だけだと思っていました。でもお琴や三味線など色々な日本の伝統的な楽器があり、それぞれ魅力のある楽器ばかりでとても興味を持ちました。同じ太鼓でも、ばちによって音が違ったり、同じような楽器でも音の高さが違ったりなど、とてもあわさってきれいな演奏が聞けてとてもうれしかったです。演奏をステージだけではなく鑑賞している人達もまきこんで、とてもすばらしいパフォーマンスでとても楽しかったです。

家に帰った後に DRUMTAO のことを調べてみて、太鼓をたたいたことのない人も TAO に興味があって努力して TAO に入る人もいると知って、自分の夢に向かって努力している人たちを見ることができてとても心に残りました。DRUMTAO の人達はとてもカッコよく目に焼き付きました。自分は努力することが苦手なのでとてもカッコよく TAO の人達みたいに自分もカッコよくなりたいと思いました。また、機会があったら、もう一度 DRUMTAO を見に行きたいと思いました。